

# 桜中だより

長崎市立  
桜馬場中学校  
校長 大塚 潤

## ふるさとへの感謝の恩返し

# モトヤー！モツテロー！



「より早く、より高く」にとことんこだわる雄介先生の勇士を応援しよう

本校職員である林田雄介教諭(3年4組担任)が、龍踊に、六番衆として出場します。日々猛練習に励み、筋肉モリモリになっている林田先生が、今回意気込みを寄稿してくれました。

私は来月7、9日に開催される「長崎くんち」に五嶋町・龍踊の龍衆(六番衆)として出場します。

私が今回くんちに参加したいと思った理由は、生徒の皆さんの姿にあります。地域学習やボランティア活動、地域行事への参加など、誰かのために何かをする「実践している桜中生。そのような姿を見て、「自分が育った地域のために何ができるか？」と考えるようになりました。そこで目に留まったのが、龍衆募集のチラシ。思い切って申し込みました。今年3月、基礎となる体力づくりから始まり、6月1日の小屋入りからは週3回の稽古、7月下旬からは場所踏み稽古・正直、何度も諦めかけ、辞めようとする思いました。

しかし、稽古を重ねるにつ

ちに全く上がらなかった龍体を少しずつ上げられるようになってきました。今年のテーマは「高く！早く！」。数cm、数秒に最後までこだわり、残りの稽古に全力で取り組みたいと思います。

本番3日間は平日なので、皆さんが見られるのは夕方以降の時間になります。見かけた時は「ヨイヤー」「モツテロー」の掛け声、「招玉(チャップリン)の手拍子をお願いします。皆さんの声援が力になります。庭先回りは前日が白龍、中日後日が青龍を握る予定です。

地域とともに成長している桜中生に負けないよう、そして私も「桜の誇り」になれるよう、ふるさとへの感謝の恩返しとして3日間龍を振ってきたいと思えます。

## 調査結果から見えること(その2)

今回は、「2学期以降課題にしたい評価」「改善したい評価」を一部抜粋して紹介します。

### 全国学習状況調査

- ①「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」  
(本校76.0・長崎県76.0・全国78.6)
- ②「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾も含む)。」  
(30分以上学習する)と回答した生徒  
(本校33.6・長崎県37.5・全国36.4)
- ③「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」「2時間以上学習する」と回答した生徒  
(本校52.0・長崎県63.2・全国63.0)
- ④「新聞を読んでいる」  
(本校15.0・長崎県14.7・全国17.0)
- ⑤「将来の夢や目標を持っている」  
(本校62.4・長崎県76.6・全国66.3)
- ⑥「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」  
(本校62.4・長崎県63.1・全国67.5)

## くんち、頑張れ！

今年の長崎くんちに参加する生徒については2号にわたって紹介してきましたが、次の生徒も参加します。

○八坂町自治会 年番町・御神輿

(2年3組)

頑張つてね。応援しよう。

### 学校評価

⑦「私は、自分に必要な学習を自覚し、計画を立て、粘り強く学習に取り組んでいる(塾も含む)。」  
(生徒81%・保護者68%・教職員72%)  
⑧「生徒」私はクロームブックを活用して学習に取り組む意欲や態度が高



いよいよです。子供たちの成長、すごいです。

### 考察

「まったく」  
 (教師)「私はクロームブックを活用して生徒の学習に取り組む意欲を高めている」  
 (保護者)「学校は、クロームブックの活用を図っている」  
 (生徒)「76%・保護者71%・教職員79%」  
 (生徒)「私は、地域の文化や歴史を誇りに思い、ふるさとに貢献したいと考えている」  
 (生徒)「81%・保護者64%・教職員83%」  
 (生徒)「私は、本を読むことが好きである」  
 (生徒)「72%・保護者52%・教職員79%」

今回の調査結果から、「自律した学習者の育成」「将来の夢や目標の明確化」「困りごとへの相談」の3つの課題が浮かび上がってきました。

一点目の課題は、「**自律した学習者の育成**」  
 全国学力学習状況調査の①「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」(本校76.0・長崎県76.0・全国78.6)や、質問項目②③からも、平日、休日ともに学校の授業時間以外の学習時間が短いことが分かりました。

また、①「私は、自分に必要な学習を自覚し、計画を立て、粘り強く学習に取り組んでいる」についても、過去3年間の結果では、横ばい状態が続いており、大きな課題です。本校生徒は、与えられた課題へ前向きに取り組んでいるものの、自主的・主体的な学びについては課題で、生徒たちに促していきたいところです。

私たち教職員は、夏の校内研修において、文科省や県教育庁義務教育課での勤務経験があり、現長崎大学教育学部附属中学校の鶴田教頭先生を講師として招き、「自律した学習者の育成に向けて」と

いう表題で、研修を行いました。特に印象に残ったのは、授業改善について、「普段の授業の中で、学習内容の指導に終始していないか。学習方法の指導は行っているかを見直すことや、「外発的動機付けを育む仕掛け」が必要であることです。早速、9月から、子どもたちが主体的に学ぶ姿をイメージして、授業に取り組みんでいます。また、授業や授業外の学びの一つとして、クロームブックを効果的に活用することが挙げられます。AIDRILを活用して、確かな学力を身に付けるには、ただひたすらに問題を解くだけではなく、人友人・先生・保護者)が関わり、フィードバック(褒めたり、認めたり、促したり、励ましたり、指摘したり)がないと長続きしないことや、AIDRILが向く生徒もいれば、向かない生徒もいる(文字)に書き起すことで学びやすい生徒もいる)ことなども学びました。

本校の1学期の研究推進委員会でも、「知識の習得にはAIDRILは効果的だが、思考力・判断力を身に付けるには課題がある」という意見が出るなど、AIDRILを効果的に活用するための研究も進んでいます。2学期は、これらを踏まえて、授業で効果的に活用していきます。「家庭でもお声掛けをお願いします。」

### 将来の夢や目標の明確化

⑤「将来の夢や目標を持つている」では、全国に比べ、3.9ポイント下回りました。中学生から見れば、将来の選択肢が多く、自身の適性や興味関心をまだ十分に理解できていない可能性があります。目先の高校進学だけではなく、様々な職業や生き方・ものの見方や考え方について、調べたり、考えたりする機会を大切にしたいものです。保護者をはじめ地域の方々との関わりをなかで、身近に働く人の話を聞くことを働き掛けるなどして、生徒が将来の夢や目標を具体的にイメージできるように支援していきます。

### 3点目の課題は、「困りごとの相談」

⑥「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」では、62.3%(全国に比べ、5.1ポイント下回った)でした。生徒が抱える悩みや不安は、多種多様であり、相談しにくいと思っているのかもしれないかもしれません。

学校には、担任の先生だけでなく、教科担任や生徒会専門部活動で関わる先生、部活動の顧問など、様々な先生との間に信頼関係を築いていくことが大切です。学校相談員の田中先生や、SCの長野先生、別室登校支援員の林先生、図書館司書の酒井先生、特別支援教育支援員の大串さん、浦川さんもおられます。

なお、本校では、毎月一回生活アンケート実施しています。生徒たちには、気兼ねなく記入してほしいと思いますし、誰に相談をしたいのかも書いてほしいところです。生徒が気軽に相談できる時間や場所を確保し、相談体制の充実を図ります。

また、相談体制の充実を図るためには、保護者との連携は必要不可欠です。場合によっては、子育てに関する悩みや相談窓口についての情報を提供します。

## 桜中ルールの見直し

S帽・日傘・アームカバーを登下校時に使用(着用)することを可とする。ただし、派手でないものを使用(着用)すること。生徒玄関で着脱すること。(熱中症や紫外線から自分の健康を守るため)

最後に⑧「私は、地域の文化や歴史を誇りに思いふるさとに貢献したいと考えている」については、生徒は81%と比較的高い数値ですが、例年後期の評価で下がる傾向にあります。1学期末は、平和学習や地域の夏祭りがあり、活動が活発でしたが、2学期も地域の祭り(若宮稲荷神社のお宮日)や親睦行事(ランドゴルフ大会)、学校行事(きれいな町づくり清掃活動)など続きます。地域の様々な人々と交流することで、視野を広げ、地域社会の一員としての自覚を育んでいきます。